

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム そよかぜ
(ユニット名)	二階ユニット
所在地 (県・市町村名)	大阪府 東大阪市 大蓮北
記入者名 (管理者)	中島 美紀 ・ 岡本 倫代
記入日	平成 21年 9月 18日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	昨年の外部評価結果を参考にして、そよかぜ独自の理念を職員より公募して作り上げた。地域に根ざす暮らしを目標とした。 <そよかぜの理念>1.ご利用者様の尊厳を大切にし、個別援助に努めます 2.ご利用者さまの「思い」に添った介護に努めます 3.ご利用者様の残存能力の維持・発展を目指し、心と身体のリハビリテーションを行います 4.地域の方々と連携・協力して、地域の人として楽しく暮らせるよう支援します	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、毎週のミーティングおよび研修などを通じて書面として配布し、<そよかぜの理念>への理解を深め、理念を共有し、理念の実践に向けて取り組んでいる	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	利用者およびその家族には重要事項説明の際に書面で配布・説明している。来訪者には玄関にて閲覧していただいている。近隣には催し物開催の折に理解を深めていただけるよう書面等配布するなどして、取り組んでいる	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	管理者と職員は、毎朝の外気浴や散歩の際に挨拶を交わし、花の苗をいただいたり、周年記念にお招きしたりのお付き合いが出来ている	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所で自治会に入会し毎月の廃品回収に協力、また 敬老会や選挙に出かけている。また、玄関前のベンチで外気浴や散歩の際に挨拶を交わし地元の人々と交流することに努めている。地域の人がベンチで休憩されたり、散歩途中で立ち寄りされたり	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	事業所は自治会に入会し、廃品回収に協力。また、周年行事やボランティア催事・花火会に地域の人を招待している。毎朝の外気浴や散歩の際に地域の高齢者等と挨拶を交わし交流することが一番の地域活性化であるように思われる		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、自己満足にとらわれず、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。利用者、その家族、第三者にわかりやすい言葉で＜そよかぜの理念＞を作り上げたことを第一歩に改善を重ねている。第三者評価での家族アンケートでも率直な意見が聞かれ、来訪者用スリッパの新調などの改善を行った		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、行政の考え方・他事業所の取り組みなどの参考意見を頂き、サービス向上に活かしている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、また 市高齢介護室にも行き来する機会をつくりご意見を聞き、サービスの質の向上に取り組んでいる		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。現在、1名利用中、1名申請中		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。利用者の内、1名が自宅での家族の暴力が原因で入居されている。入居されてからは、家族さんからも「気持ちも体も楽になりました」と喜んで面会に来ていただき、円満な関係を築くことができている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。契約時姿を見せない家族が来られて「親は認知症ではない」と言う考えの下に、ライターや刃物の差し入れをされたケースがあり、苦慮した	○	契約時には家族全員と面談し、十分な説明を行い理解・納得を図っていききたい
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者はオープンに意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会があり(ほとんどが生活習慣病のための生活規律への不満であるが)、それらを運営に反映させて、行事やイベントを組み、低カロリーの食品を好きなだけ食べる機会を設けたり、気持ちを発散させる機会を設けている		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に季刊新聞の発行や月々の個々のサービス請求書・領収書に報告を載せている。適宜、電話でのご報告も実施している		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議にて家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会とし、それらを運営に反映させている。面会の折にも、時間をとって頂いて管理者または職員と面談している		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週の朝のミーティング・毎月のカンファレンス・1-3月に1回の夕食会にて、運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。＜そよかぜ理念＞の構築や本年度の年間計画の主目標「利用者の活動活性化」に向けて、職員よりの意見・提案を反映させている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	脳梗塞再発で立位・歩行不安定であったり、夜間 便異食があった利用者やその家族の夜間体制強化の要望に柔軟な対応ができるよう、夜間時間帯に職員を確保するため、勤務の調整に「アシスト夜勤」を考案している。また、家族が面会が難しければ利用者に職員が同伴して散歩の時間を持つように話し合いや勤務調整に努めている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。勤務調整によって職員がユニット間で代わる場合に備えて、情報の共有や毎朝の全体交流で顔なじみになり、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するために新人研修・認知症研修および年間研修計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。資格取得には資金援助等も行っている</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持てるよう、職員の地域ケア会議参加・認知症実践者実地研修の受講者受け入れを行っている。互いの長所を取り入れ、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するために体操の時間を持つ工夫やゆっくり休憩がとれるように環境づくりに取り組んでいる</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、ミーティング・カンファレンスや研修でそれを認め、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。自分の認知症症状が入所の理由になっていることを認められない・受け入れられない人には傾聴する時間を特に大切にしている</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を担当ケアマネージャーと共に見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、入院中以外は見学を重ねていただくことを提案し、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、ユニットを構成する大切な一員として、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜劇や家族会を通して、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は、家族を支援される一方の立場におかず、面会や家族会を通して、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。面会や家族会参加が滞っている家族には電話連絡をし、時には利用者に電話を代わって声を聞かせていただく機会を設けている	○	面会や家族会参加が滞っている家族への働きかけに良い方法がないか苦慮している
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。管理者または職員が家族に連絡を取って共感を得ながら理解を促している		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、手紙や葉書を出せるよう支援したり、友人の面会を奨励したり、外出の折なじみの場所に立ち寄れるように支援に努めている	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、手紙や葉書を出せるよう支援したり、友人の面会を奨励したり、外出の折なじみの場所に立ち寄れるように支援に努めている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が互いを認めて関わり合い、支え合えるように助言や場の設定を行い、相互理解ができるよう努めている	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が互いを認めて関わり合い、支え合えるように助言や場の設定を行い、相互理解ができるよう努めている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、便りを送ったり関係を断ち切らないつきあいを大切にしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎月カンファレンスを行い、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。共同生活していく上や本人の治療上の制限のために困難な場合は、本人本位に検討し、その方針を職員間で確認している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に家族・担当ケアマネージャーから、また入居前後に本人から話を聞き、一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎月カンファレンスを行い、一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握して職員間で共有するように努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、担当者会議または照会にて本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、毎朝の申し送り・毎週のミーティングで情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、家族の宿泊室を提供する。1階通所介護事業所のレクに利用者が参加、又はスペースを利用して家族会や行事を行うなど柔軟な支援をしている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向や必要性に応じて、自治会役員と地域廃品回収に参加したり、ボランティアとの音楽会、非難防災訓練では消防にお世話になり、協力しながら支援している。無断離設者や家族と外出中に迷子になったときには警察にも協力いただいた。地域中学生の福祉体験の受け入れを行っている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向や必要性に応じて、家族・本人が受診している精神科主治医・デイケア看護師職員やデイサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと相談し、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと相談し、利用申込を援助している		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように受診・治療継続の支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう訪問診療・受診に同伴や支援している		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者をよく知る看護職員あるいはの内科・精神科の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者と訪問診療所の情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。利用者・家族が看取りを希望される場合は「看取りに関する看護・介護の同意書」をいただいている		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	毎月のカンファレンスで重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。また、今後の変化に備えての検討や準備を行っている		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人が自宅からグループホームへ移り住む際、家族及び担当ケアマネージャーとで十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。グループホームから特別養護老人ホームへ転出に際しても担当者や情報交換に努めている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの利用者およびその家族に対し、誇りやプライバシーを尊重する言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いには十分注意している	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人が離れている娘へ写真付きの礼状を送れるよう働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い権利擁護事業を利用できるように自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、昼夜逆転しないように支援している。また、今をどのように過ごしたら良いかわからない利用者に楽しく暮らせるように支援している	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。理容・美容は本人の望む店が分からなくなっておられるのでさっぱりと整えるように支援している。施設行事の長寿の祝いでは皆さん一番の正装で、女性はお化粧をさせていただいてお祝いしている	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒にメニューを考え、下拵えから片付けまでをする日を設定している	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人が望む飲み物、おやつ、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。お酒はアルコール依存症歴のある利用者が複数いるため、行事の時に楽しむ程度にしている。タバコは経済的制限があるので家族の面会時に楽しんでいただいている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の失敗やおむつの使用を減らせるように、一人ひとりの力や排泄のパターン・習慣を活かして、時間トイレ誘導を行い気持ちよく排泄できるよう支援している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本の入浴曜日をベースに入浴の声掛けをしている。それに加えて、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、保清・入浴を楽しめるように支援している		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、居間の畳の上で午睡を取っていただくなど、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割:洗濯物たたみ・食事の号令「いただきます」・御盆拭き 等をしていただきお礼を言う日々である。楽しみごと、気晴らし:懐かしのカラオケの歌詞や音源を探したりの支援をしている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。また そういう場に出かけ、本人が使えるように計画している		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に散歩や買い物に出かけられるよう同伴・支援している		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	「故郷に帰りたい」とおっしゃる利用者の意向を家族に伝え、その子供たちが協力して家族旅行された。また、中国人利用者の希望により「国際フェスティバル」に他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、車送迎を何往復もして支援している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族の意向で本人に携帯電話を持たせて家族や大切な人から本人自らが電話ができるようにされたケースがあり、携帯電話所持を支援した。また、家族や友人と手紙のやり取りができるように、レターセットと一緒に買いに行き、文章はその利用者なりに書いていただいて、封筒にあて先を書いて送る支援をしている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう、居室の環境整備や現在の利用者の様子を簡単に解説するなど工夫している。また、必要に応じて家族宿泊室も提供している		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。夜間 時間トイレ誘導を行っているが放尿やおむつはずしに苦慮している		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。ただし、個人財産保全のため、留守居室に鍵を掛ける必要がある		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼は1時間毎、夜は3時間毎に利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、手作業道具としての針・はさみは作業後 数量確認をして危険を防ぐ取り組みをしている。編み針を居室に所持できている利用者がいる		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐためのマニュアルを作成し、毎月 事故防止委員会で一人ひとりの状態に応じた事故防止策を考察し介護に取り組んでいる。ユニットに一人 目の前のものは何でも取り込んでしまう利用者がいるので、内服薬は服用時配薬としている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応のマニュアル研修・訓練を半年毎に行っている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災や地震、水害等の災害時に、昼時間帯・夜時間帯に分けて利用者避難マニュアルを作成し、半年毎に 避難訓練・職員研修を行っている。また、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう近隣住民や自治会に働きかけている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、家族の判断・承諾を得て、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を施行している		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタル測定時のみならず、一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに職員間及び訪問診療所と情報を共有し、また 精神科ではデイケアに際に報告して、対応に結び付けている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、かかりつけ薬局から薬剤情報・指導を受け、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。特に白癩症利用者はセルフケア不足で 外用薬使用前の足浴など根気良い誘導が必要である		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のために 食事は野菜を多くし、人によっておやつに乳酸菌飲料を取ってもらうなどの工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎週 訪問歯科の指導を受けながら、口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じ、口腔衛生を支援をしている。義歯消毒は週1回をベースにしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた献立(糖尿病食・低塩食・Ca食 等)・調理(軟食・トロミ 等)・盛り付け(ペースト・キザミ・一口大 等)等の支援をしている		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対する予防や対応マニュアル(手洗い・マスク・うがい・汚物処理 等)があり、研修・実行している。毎年 職員・利用者共、インフルエンザ予防接種を実施している		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒の予防のために職員研修を行い、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関には花を植え、ピロティにベンチを置き、通りがかりの人も休憩していかれる空間となっている。建物周囲には東大阪市緑化計画に参画して緑を配置するなどの工夫をしている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、玄関には生活感や季節感を採り入れて、居間には畳敷きに障子越しの灯りを用いて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中には、座り方によって独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫がある		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、基本の作りは木を多く使用してエアコンを目隠しするなど、落ち着いた雰囲気となっている。本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	利用者の中には窓を閉め切ったり、冷暖房を入れたがる人が目立つが、職員は部屋を訪問し会話を交わしながら、気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は共用空間に手すりを多く配置し、一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。視野障害などで車椅子自走で曲がり角にぶつかる利用者が居るので、今年度は改装も行った		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりのわかる力を活かして、トイレや居室の名前表示・目印をつけ、理解しやすい言葉掛けや説明を行い、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外周りに花を育てたりプランター菜園を作り、利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。ベランダは西の空に大きく広がり、入ってくる涼風やきれいな夕焼けを楽しんでいる		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

歌唱好きな利用者が多く、昼食後にウトウトしていても、歌の時間になれば目が覚めるので、一緒に歌を歌って過ごす毎日である

今年度は5月より新型インフルエンザの流行があり、春から外出頻度が減っている

色々な相談があり、生活保護受給や身体障害者手帳取得手続きのお手伝いをしてきた。面会が途絶えている家族には職員から電話を掛け、話を聞いている

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。		
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように	1階の通所介護利用者と朝の外気浴の際に顔なじみになり挨拶を交わし、レクを一緒に楽しむこともある
			②数日に1回程度	
			③たまに	
			④ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている	花の苗や球根を頂いたり、菜園指導をしていただける応援者が増え、有難く思っている
			②少しずつ増えている	
			③あまり増えていない	
			④全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が	各ユニットのリーダー職員が若い職員の悩みの相談に乗るなど、職員同士の良い関係も育っている
			②職員の2/3くらいが	
			③職員の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が	
			②利用者の2/3くらいが	
			③利用者の1/3くらいが	
			④ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が	
			②家族等の2/3くらいが	
			③家族等の1/3くらいが	
			④ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者は要介護1-5までおられ、年齢層も高いです。平均年齢を下げているのは脳血管性認知症で入居されている若年男性です。よって、通常の移動で車椅子利用者が半分以上を占めており、外出にも一苦勞ですが、職員・利用者で盛り上がり 花見や公園散歩・買い物に出かけています。 地域柄、外国籍の利用者も多く、障害のため日本語が解らなくなった利用者も居られますが、身振り手振りで大笑いしながらコミュニケーションをとっています。 東大阪市生活保護受給者を受け入れていますので、他の高級なグループホームとは雰囲気は違うと思います。 職員に制服はなく、家族の一員として利用者を支援することを大切にしています。